

2017年6月9日

## 沖縄県に現地法人を設立 セブン - イレブンの沖縄県への出店を決定 ～2019年度を目処に出店を開始～

株式会社セブン - イレブン・ジャパン（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：古屋 一樹）は、このたび、2019年度を目処に全国で最後の出店エリアとなる沖縄県に出店することを決定しました。今後の計画として出店から5年間で約250店を予定しております。また、現地での円滑な店舗運営をするためにセブン - イレブン・ジャパンの100%子会社である現地法人を2017年中を目処に設立いたします。

現在、セブン - イレブンは、全国46都道府県に出店し、直近では2015年10月に鳥取県へ出店いたしました。このたびの沖縄県への進出により日本全国47都道府県への出店を達成いたします。

沖縄県は近年の移住ブームや出生率向上等により人口増加率も高く、コンビニエンスストアのマーケットとして非常に有力なエリアであると認識しております。当社は2009年秋より、「近くて便利」をテーマに商品構成の見直しやサービスの拡充を図り、お客様の利便性向上に取り組んでまいりました。このたびのセブン - イレブン出店は、地元にお住まいの方のみならず、観光客の方々にも便利にご利用いただけるものと確信しております。

また、今回の沖縄県への展開は、出店のみならず、沖縄県の地理的優位性に注目し、経済特区を活用した「セブンプレミアムのグローバル展開」も視野に入れております。アジア各国のセブン - イレブン店舗への海外ライセンスサポートのために、沖縄を“ハブ(輸送拠点)”として、セブン&アイグループが誇るプライベートブランド“セブンプレミアム”を展開してまいります。

出店にあたっては、早期に新たに工場や配送センターを設け、フレッシュな商品を製造し、タイムリーに配送する体制を整え、新たな店舗展開に向けて万全の体制で臨んでまいります。

セブン - イレブン・ジャパンはそれぞれのエリアにおいて、地域に密着した店舗づくりを推進し、お客様のさらなる利便性向上に努めてまいります。

以上